

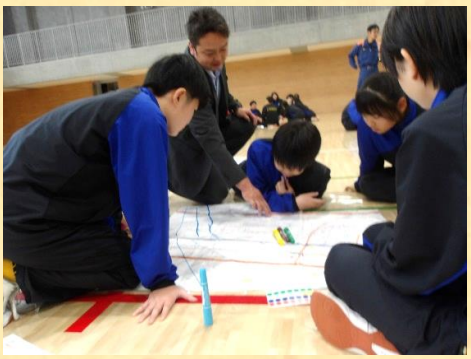
社会教育主事「K」&社会教育士「S」が行く
～砂川学園7年生 DIG 取材編



１０月６日（火）、砂川学園７年生の授業で、砂川地区広域消防組合を講師に DIG（災害想像ゲーム）が行われました。当日は、地域の方も参加し、生徒たちの話し合いや作業を手伝いました。生徒たちはグループに分かれ、砂川市の地図を見ながら、災害時の危険な場所や避難所、避難ルートなどについて考えました。グループでの作業中には、「自分が住んでいる辺りは高いところに逃げやすいが、土砂崩れが起きやすい」「この橋は地震が起きたら壊れるかもしれない」「避難場所への一番安全なルートを初めて考えた」など、地域ごとの特徴や災害時の利点・課題について、さまざまな意見が出され、時には地域の方に質問し、「より安全に避難するにはどうしたら良いか」など、具体例を交えながら話し合いを行っていました。授業終了後には、「近所に川がなく、これまであまり防災意識はなかったが、今回 DIG を初めてやってみて、災害に備えて食料や必要な物を備蓄しておくことが大事だと学んだ」と話す生徒もいました。最後に自助・共助・公助について説明があり、「災害時には全員に公助の助けが届くのは難しい。まずは自分の身は自分で守ることを意識してほしい」との話がありました。



▲防災マップと地図を見比べ中！
自分達の地域について調べ、浸水予想箇所などの色分けを行いました。



▲地域の方に質問をして、色分けした地図に詳しい情報を加えていきます。有事の際の避難所も確認しました。



▲詳細情報をふせんに書いて地図に貼り付けました。みんなで話し合い、オリジナルの防災地図が完成！



▲完成した地図をみんなに披露しました、地図をもとに、近隣地域の強みと弱みを発表しました。

あいさつで　みんなの心　晴れやかに　砂川学園　仁田寿輝さん